地区ＳＳ隊「ブラック・スピア隊」発隊式

１０月１８日（日）　北野神社北門前(平野神社前を東に)17:50集合

発隊式 18:00　班編成　　服装　制服着用(野外ですから防寒着も)

隊集会 19:00　わら工章に挑戦　　持ち物　ナイフ・はさみ・軍手・筆記具

解散　22:00　当日、制服をスマートに着用し、時間に遅れないように。

参加の申込者　徳岡龍彦　西脇淳人　八木立夫　伊藤良崇　出口浩平

技能章の取得者（9月末現在）

救急章9/17 = 徳岡龍彦　西脇淳人　八木立夫　伊藤良崇

珠算章9/24 = 西脇淳人

カヌー章については、ＳＳラリー参加者は感想文(原稿用紙３枚以上)の提出で申請できるので、早急に提出の事（現在出口君のみ提出済）

今後の技能章講習会案内

手話章　10月25日(日)および11月８日(日)いづれも13:00～16:00
場所　仏光寺（南門より入る＝高辻通東洞院東入る北側）
講師　西田道子先生(手話通訳者)
参加費 1,000円(テキスト代を含む)
参加申込者　徳岡龍彦　西脇淳人　八木立夫　伊藤良崇　出口浩平
当日、制服をスマートに着用し、時間に遅れないように。

文化財保護章・天文章　11月22～23日現地集合午前９時受付、現地解散午後４時
場所　奈良市朱雀４－３－２「カトリック野外礼拝センター」
参加費　3,300円(食費・資料代・星座板) 申込時に納入
事前課題　文化財保護章細目②をレポートにまとめて持参する。
申込み　10月末までに地区へ提出ですから、それまでに希望者は隊長へ。

８　月　の　活　動　報　告

第３回日本ベンチャー'92(シニアースカウト大会) ８月３～１０日 滋賀県他

参加者　西脇淳人　八木立夫　出口浩平　伊藤良崇

９月12日(土)10:30～11:15のテレビ放映では、出口、伊藤の両名がバッチリ画面に出演。

なお、参加者は隼章３.(2)=２泊３日以上の固定キャンプの実施認定とするので、報告書の提出を記憶のあるうちに。(現在西脇君提出済)

ＢＳ隊キャンプ奉仕　８月12～16日　京都市左京区静原

参加者　伊藤良崇 八木立夫 出口浩平 末吉央伯SSL 角井輝信ASSL

５０km移動キャンプ実施　８月13～15日琵琶湖西岸

参加者　徳岡龍彦　西脇淳人　　テーマ=「琵琶湖西岸の水質調査」

LOOK WIDE NEWS KYOTO SUNHAPCHI SENIOR SCOUTS

広報

12.OCT.'92
No.008

ＢＳ隊の隊長代理でＳＳ隊機関誌が　６～９月まで４ヵ月分ストップ。久々の登場です。

北山地区ＳＳラリー（ＣＡＮＯＥ）

↑サンバチのサイト。このなんとも眠たそうな顔

９月１９～２０日船井郡和知町和知川カヌー会場
参加者 八木立夫 出口浩平 伊藤良崇 角井輝信ASSL
松野真太郎 入矢次郎（両名はグリーンシニア）

見よ！この八木君のパドルさばき↑

１０月隊集会案内

日　　10月 18日(日)
テーマ「カワセミ・ハイク」
場所　美山町 京都大学演習林
内容　川中行脚（10:30～14:30由良川の源流を5km程歩く）
集合　08:30 各自自宅待機。
交通　隊長の自家用車にて現地へ。
解散　17:00 各自自宅。　直ちにブラック・スピア隊の発隊式に出られるよう準備。
服装　長袖。長ズボン。チーフ(30周年のグリーン色のもの)。
持ち物　弁当(防水加工の入れ物に入れて来る)。水筒。水泳パンツ。軍手。タオル わらじまたは鮎足袋(＝滑り止めの履物。どちらもなければ、荒縄4m)。着替え一式。(出発地に置いておく。全身濡れても帰りは乾いたものを着て帰れるように)
準備品　救命胴衣各自1着分。救助用ロープ。救急用具。ガスコンロ。
参加予定者　八木立夫　出口浩平　伊藤良崇　角井輝信ASSL 末吉央伯SSL
(更に参加希望者は電話で隊長宅まで)

今　後　の　日　程　一　覧

１０月１８日(日)08:30～隊集会　18:00～地区ＳＳ隊発隊式
１０月２５日(日)13:00～手話章講習会　19:00～上進式（全員参加）
１１月　８日(日)13:00～手話章講習会
１１月１４日(土)19:00～報恩講（全員参加）
同　　21:00～ＳＳ入隊式(パラシュート・ハイク)
１１月２２日～２３日09:00～文化財保護章・天文章講習会
１２月２０日(日)09:00～16:00 団行事(SS20周年)ＳＳ隊イベント担当

作文コンテスト 優秀作品発表

第三回シニアースカウト大会の開催に先駆けて、参加スカウトによる事前応募作文コンテストが行われました。

「何故いまスカウティングが私に必要か」をテーマにシニアースカウトたちの体験や考えを募り、審査の結果優秀作品一編、佳作三編が選ばれました。

優秀　大串太一（東京・新宿第十四団）

佳作　中島龍一（東京・台東第七団）

三好栄充（富山・高岡第二十四団）

北山峰生（大阪・富田林第二団）

優秀，佳作に対してそれぞれユニフォーム、活動着各一着が贈られます。また、優秀賞を受賞した大串太一君に対しては、海外派遣事業に応募した場合は、選考の際、今回の受賞も考慮されます。

優秀賞受賞作品

「何故スカウティングが私に必要か」

東京・新宿第十四団　大串　太一

今、日本の社会は何といわれているでしょうか？　そうです「競争社会」です。人々は学歴や地位・名声を手に入れる為に毎日を生き、ときには他人を落とし入れてでもその目的を達成しようとします。そんな世の中でどんどん失われていくのが「本当の意味での集団行動」そして「我慢をすること」ではないでしょうか？　自分に何故スカウティングが必要なのかをその二点から見つめ直してみようと思います。

日常生活の中で「集団行動」というものは重要な活動単位であり、集団行動のできない者は社会で生きていくことができません。それは「社会」というものができていく過程で生まれた不変の真理であると思います。しかし、現在のかなりの数の集団行動がその主旨からはずれています。例をとると、一時期ブームになった「校則の厳しすぎる学校」もその一つだと思います。本来、学校というものは生徒達の手によってつくられ、組・学年・全校といったように、本当の意味での集団行動が行なわれてきました。しかし、今はほとんどの学校が教師の手によって運営され、生徒は進学の為に勉強するのみです。それは、教師が悪いのではなく、「自分のことは自分でやる」という当たり前のことを忘れている生徒が悪いのです。「本当の意味での集団行動」というものは、個人個人が自覚を持って行動し、一人で解決できない問題を仲間と一緒に解決しながら、その集団を盛り上げる、そういう場であるべきだと思うのです。

そのような活動を実践できる場が、自分にとってはスカウト活動なのです。自分で課題を想定してそれに向かって努力し、解決できない時には仲間達や指導者が一緒に努力してくれる、これこそが真の集団行動ではないでしょうか？　自分はそう考えます。

集団行動を行う為には、一人ひとりが我慢するということが大切です。「今の子どもは我慢ができない」そういわれて何年くらいたったのでしょうか？

確かに自分達の年代は、我慢することがなかなかできません。食糧はたくさんある、金さえあれば何でも手に入る、そのような世の中に生きていれば意志の弱い人間のこと、我慢することができなくなるのは当然のことなのかも知れません。しかし、それでは、本能のおもむくままに生きている他の動物となんらかわりはないのです。

自分は「我慢すること」ができるようになったのは、スカウティングのおかげであると思っています。遊びたいけど我慢、休みたいけど我慢、騒ぎたいけど我慢、当たり前のことだけど「我慢する」ということは人間にとって辛いことです。しかし、自分の経験からいえば、きちんとスカウト活動をすることで身につくと思います。もし、今以上にスカウティングが世間に広まれば「今の子どもは我慢ができない」という批判も少しは変わることでしょう。

以上、述べた二つの問題から考えると、自分はいまだにスカウティングを完全に理解しているとはいえません。それほどスカウティングというものは奥深いものなのでしょう。

今、スカウティングは自分の全てです。自分を鍛える為にも、他人を助ける人間になる為にも、そして、スカウティングをより深く理解する為にも、自分にはスカウティングが必要なのです。

自分は、たくさんの友達を積極的につくること、技能を磨く為に努力すること、自分で自分の活動を計画・実行すること、そして、みんなで力を合わせて物事を完成すること、その他、人生の大事な糧となる大切な事をスカウティングを続けているおかげで学ぶことができました。これからもスカウト活動を続けて、スカウティングから学べる全てのことを学ぼうと思います。また、スカウティングを見つめ直すことで生じた問題も、これからの活動を続けていく上で結論を出し、スカウティングを完全に理解しようと思います。

最後になりますが、このようなすばらしい機会を与えていただいたことに心から感謝いたします。どうもありがとうございました。

第3回 シニアースカウト大会 参加スカウトによる

隊長としては、これでも少しもの足りませんが、さんぱちＳＳ諸君に、文章表現と作文構成の勉強にと掲載いたしました。　び。